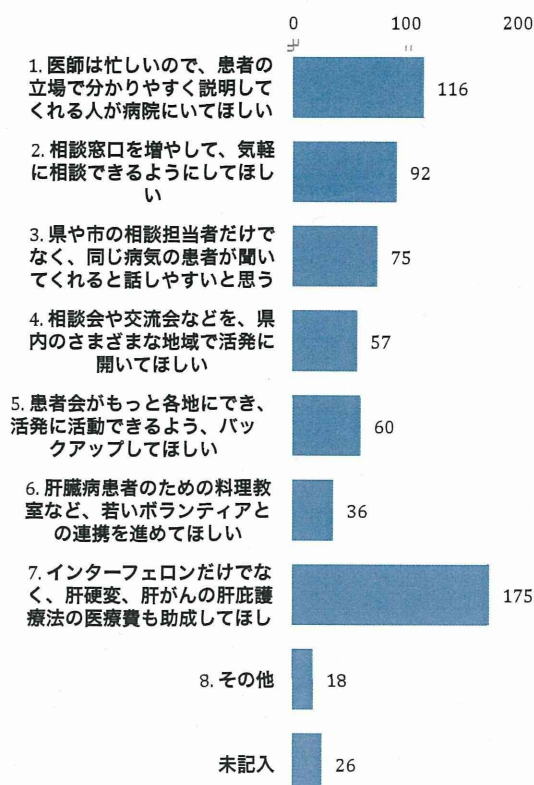
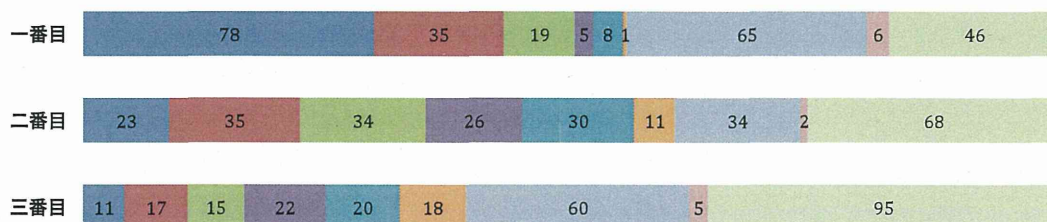


- ・ (2番目) INF注射で魚の臭気等で食べられなくて困る。生ジャガ芋の汁 (にカルピスを入れて) が良いとか云われ相当日数呑んだ。 (3番目) 妻と息子の嫁 (選択肢⑤補足) (座薬が必要)接触事故を起こした(車) (選択肢⑤補足) 白血球が1/2になったらやめると云われたが1/3位いになったのでINFをやめた (50回位いで)
- ・ 副作用が出た時に医師が相談にのってくれず、怒られた。
- ・ うつ病になり3度入院した
- ・ 先生にまかせた。副作用は座薬でどうにか。
- ・ 検査数値が下らなかった
- ・ 副作用で体力的・精神的にしんどかった。
- ・ 15年前には食事は何を食べても良いと言われていた
- ・ NHKの肝臓病の食事とか本を買った
- ・ (選択肢⑤補足) ムーンフェイス
- ・ (選択肢②補足) 説明がないので困った
- ・ 治療中に副作用...特に貧血になり、辛かった。
- ・ 副作用が出てともしんどくて治るのだろうかと心配だった。
- ・ (選択肢⑤補足) インターフェロンの時
- ・ 薬の副作用
- ・ 別に困らなかった
- ・ 主事医にまかせている
- ・ 治療されてる人に数人違い自分に置きかえて治療をすすめる医師の云われるインターフェロンへの治療は断りながら現在に至っている。
- ・ 2ヶ月位で仕事に復帰し、通常のように勤めることが出来たので特に困ったことはなかった。
- ・ 前記で或る程度許容致しました。
- ・ 余り迷う事なく専門医の適格な指示をうけていたように思います。
- ・ 今から治療なので。
- ・ 肝臓病の専門医ときいているのでまかせている
- ・ 今の先生を全面的に信頼していますので私のウイルスにあった治療をうけています。
- ・ 私の場合はIFN治療ですが...患者会からの情報と専門医の説明と対応が良く特に困る事はなかった。家族の協力も大きかった。
- ・ 特になし
- ・ 医師を信じて気長く治療した

問15. 治療をスムーズに進めるために、今後必要なこと

N=263

水準	一番目	二番目	三番目	○も含めた全回答数
1. 医師は忙しいので、患者の立場で分かりやすく説明してくれる人が病院にいてほしい	78	23	11	116
2. 相談窓口を増やして、気軽に相談できるようにしてほしい	35	35	17	92
3. 県や市の相談担当者だけでなく、同じ病気の患者が聞いてくれると話しやすいと思う	19	34	15	75
4. 相談会や交流会などを、県内のさまざまな地域で活発に開いてほしい	5	26	22	57
5. 患者会がもっと各地にでき、活発に活動できるよう、バックアップしてほしい	8	30	20	60
6. 肝臓病患者のための料理教室など、若いボランティアとの連携を進めてほしい	1	11	18	36
7. インターフェロンだけでなく、肝硬変、肝がんの肝底腫瘍療法の医療費も助成してほしい	65	34	60	175
8. その他	6	2	5	18
未記入	46	68	95	26
合計	263	263	263	

治療をスムーズに進めるために、
今後必要なこと

- 1. 医師は忙しいので、患者の立場で分かりやすく説明してくれる人が病院にいてほしい
- 2. 相談窓口を増やして、気軽に相談できるようにしてほしい
- 3. 県や市の相談担当者だけでなく、同じ病気の患者が聞いてくれると話しやすいと思う
- 4. 相談会や交流会などを、県内のさまざまな地域で活発に開いてほしい
- 5. 患者会がもっと各地にでき、活発に活動できるよう、バックアップしてほしい
- 6. 肝臓病患者のための料理教室など、若いボランティアとの連携を進めてほしい
- 7. インターフェロンだけでなく、肝硬変、肝がんの肝底腫瘍療法の医療費も助成してほしい
- 8. その他
- 未記入

治療をスムーズに進めるために、今後必要なこと

- ・新薬の開発
- ・正しい治療方法を病院で説明してほしい。古い治療方の医師と、新しい治療方の医師がいて、古い方は、安全性があいまい、新しい方は、すぐインターフェロンと言われ、細かい説明がない。
- ・(1番目) ペグインターフェロン、リバビリン (その他詳細) 体質上インターフェロンが投与できない人がいる外の治療方法を... 医療費も助成してほしい
- ・専門医に紹介を。積極性を。照会を。積極的に特にかかりつけ医師に希望する。
- ・以前は、e抗体がでてくるから大丈夫と言われていたけど、最近の治療や、セロコンバージョンしても肝がんになることなどの情報は知らなかった。最新の情報をもっと知らせて欲しい・助成の1万円でも私にとってはかなり負担になっている。もっと何とかならないのでしょうか?!
- ・余りに税金を使う事は、片身がせまくなります。程々に
- ・入院した時に病気のビデオを見せてもらったが、内容について病気に対する注意など、発症前に、みんなに見せるべきだと皆で思った。
- ・私は4回(1年~1.5年) インターフェロンを受けましたが中止すると、ウイルスが+になります。1日も早い、薬害の少ない、タンパク阻害薬の投与を願っています
- ・C型肝炎治療の新薬での副作用、治療期間について解りやすい情報がほしい。
- ・他県の大学病院にて最先端医療を実施しているのだから受けたい人は、簡単に施して致いたら有りがたいと思う。
- ・料理教室などは、近くになければ行けない。料理本がほしい。
- ・現役世代は仕事をしながら治療を続けることが大変なので、各々の仕事環境に治療を合わせて行けるように病院も対応できればいいと思います。
- ・今私が、治療しているような医院がたくさん出来れば患者も、少しは安心出来ると思う。
- ・交流会で、友達になり、自分の今を聞いてもらえる。お互いに。
- ・きちんと説明してほしい
- ・(1番目) 口に入れるもの、栄養剤の制限 (2番目) 生活態度、無理はだめ、男はセックス (その他詳細) GOT、GPT値が低い時、強ミノを注射、レバコール? (小さな薬品会社) を呑んだら低下した。治癒したと思ったが無理をして悪くなった。ブドウ糖? 等強ミノと共に注射されて低下しないので、栄養剤等を呑んでさらに悪くした? インターフェロン(入院して) も直らず、じゃがいも汁まで呑んで、栄養剤(リンゴ酸、ウコン等、肝臓に良いものを口に入れて元気になったと思ったらガンになった。昔から肝臓に良いと云われているものはウイルス性肝炎には悪い様だということがわかった様に感じている。ワクチンが出来ないのは、変化するからだと云われていますが、食べ物制限の方が良かったのではないかな。
- ・専門医師の訓練と教育をして欲しい(専門医の名があがっていても、あまりくわしくない方もおられます) 長い間にはいろんな先生方と会いましたが、熱心な先生、日常の業ムに忙しい先生、患者サイドに立って考えにくい先生などです。肝友会(肝友紙)からは全国の有数の、先生方の研究、専門知識がぎけて安心できました。(●●では、充分な検査と、充分な情報に基づく治療がうけられたと思っています) 各地の先生方も、最新の情報を共有して、それについていって頂きたい 肝炎の段階で、治すことができたなら、ガンなどの病気になって使う医療費より結果的に安くなり、国の出費も少なくなるのではないのでしょうか。
- ・治療だけでなく、検査にも助成してほしい
- ・検査項目の相談窓口が薬局外にもほしい
- ・肝友会に入っておりますがいつもインターフェロンの話ばかりでインターフェロンの出来ない者の治療はどうしたらいいか話が出ません ウコンが良いからとの話して 信用の出来る所で購入し飲みましたら一ヶ月で4Kもやせました。医師は検査の度いいですよいいですよとばかり先日スネが悪く整形へかかりきつい薬は飲めないで血液検査をして頂いたら - 今迄したことのないAFPと言う所が10.0以下が71.1でした 肝硬変かも知れないので専門医で検査をして下さいと心切に言われました。
- ・治療で肝機能が肝硬変の状態を着着している時期、この状態を保つことに対する助言が欲しい。 相談窓口の型が大半女性で、本当に詳しく助言出来る知識と経験があるのか疑わしい時がある。もっと患者が身近で具体的な話をする方を養成して欲しい。
- ・治療費を1年間だけにせずに延長してほしい
- ・6~7年前にインターフェロンをして沢山お金がいりウイルスは消えていませんでした。今度●●年●月より1年半インターフェロン(ペグ併用)をして公的助成をして頂きましたが又だめでした。先生に又進められておりますが、経済面でむりです。
- ・検査代、薬代などの医療費の助成をしてほしい
- ・P. INF・72週を受けたが同じ患者同志の交流を拡大して、精神的な支えが、最も効果がある支援の一つであると思う。
- ・最初いろいろお話を聞きに行ったり、料理教室などに参加していたが、最近は出かけにくくなって来ました。テレビ等で見聞きしています。・病院を通して患者さんのお話もずいぶん分かっていきます。
- ・血液検査やCT・超音波ウイルスの量の検査、少量長期インターフェロンにかかる医療費の助成を希望する。
- ・慢性肝炎のエコーやCTの検査にも助成を。
- ・インターフェロンの助成回数をもっと増やしてほしい
- ・自分で研究し、図書館で関係の本を借り、大学で医学の勉強もしているので、医師とも対等に会話し、よく理解して下さるので3ヶ月の通院が楽しみです。

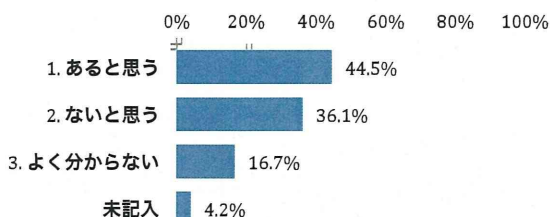
(次項に続く)

- ・ 特になし 但し肝友会など医療助成の嘆願書に他人のサイン、署名をもらえと云うのが一番イヤな事でこんな肝友会に入会しない方が良くないと思ひ勝手に治療と会費も納入してない。肝友会を非難します。 国会議員になった女性（輸血により主な病気は治ったのでしょ 金を取る キライ!!
- ・ インターフェロンで数値がよくなった
- ・ もう体力も気力もありません。
- ・ どんどん治療している病院が地域にあるので安心。私は●●●●年●月ペグで1ヶ月でウイルスが無くなりました。医師は非常に熱心です。
- ・ ●●肝友会々員です。上記の事項は、活躍しています。
- ・ 肝硬変になったら国は何もしてくれない カルテがないので保証もしてくれない。
- ・ 医師を信じて気長く治療した

問16. 肝炎(ウイルス感染)による偏見や差別 (複数回答)

水準	度数	N=263 に占める割合
1. あると思う	117	44.5%
2. ないと思う	95	36.1%
3. よく分からない	44	16.7%
未記入	11	4.2%

N=263



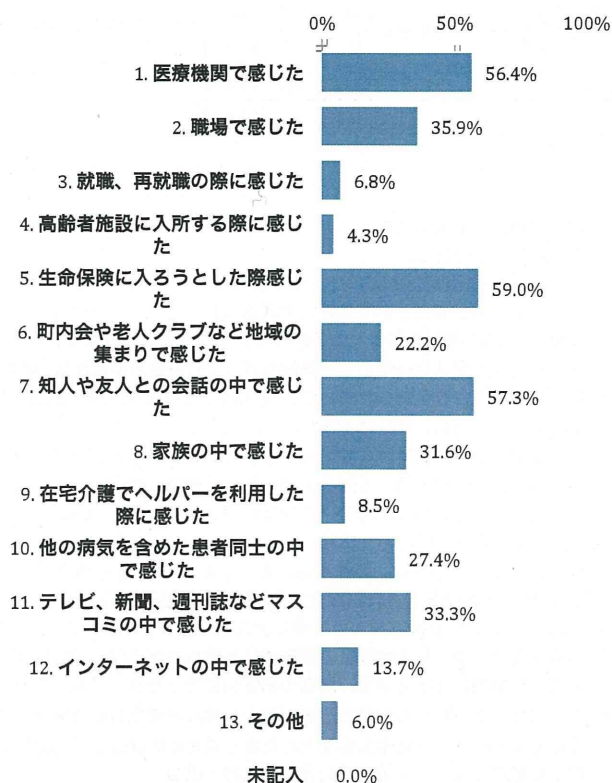
以下 [問16 で「1. あると思う」(N=117)] の回答

肝炎(ウイルス感染)による偏見や差別

問17. いつ偏見・差別を感じたか (複数回答)

水準	度数	N=117 に占める割合
1. 医療機関で感じた	66	56.4%
2. 職場で感じた	42	35.9%
3. 就職、再就職の際に感じた	8	6.8%
4. 高齢者施設に入所する際に感じた	5	4.3%
5. 生命保険に入ろうとした際感じた	69	59.0%
6. 町内会や老人クラブなど地域の集まりで感じた	26	22.2%
7. 知人や友人との会話の中で感じた	67	57.3%
8. 家族の中で感じた	37	31.6%
9. 在宅介護でヘルパーを利用した	10	8.5%
10. 他の病気を含めた患者同士の中で感じた	32	27.4%
11. テレビ、新聞、週刊誌などマスコミの中で感じた	39	33.3%
12. インターネットの中で感じた	16	13.7%
13. その他	7	6.0%
未記入	0	0.0%

N=117



- ・ 結婚の時に感じた
- ・ 結婚を考えた時。
- ・ 自分自身引け目がある
- ・ 家族と妹弟にだけ話した
- ・ 一般の人 (肝炎) でない人は知らない
- ・ 肝炎と聞くと、全員が補障を受けているものと誤解し、羨望的なことばをかけられた。
- ・ 具体的に体験していないが、感染すると確立した治療法がないので、自分自身、周囲の人がHCV外の感染症患者だったら、そうでない人と100%同じ気持ちでいられないと思うので、口や態度に出す出さないは別に内心用心すると思う。
- ・ 娘がインターフェロンの治療で入院した時 (●●病院) 同室の人と食器が違って使い捨てになって娘はショックを受けました。又娘は職場で上司が他の社員に話して色々嫌な思いをし入院した時も入院するなら辞めると言われ結局辞めました。そんな経験をしたので私は他人には心許せる人以外は話しません。
- ・ (※肝炎ウイルスに感染していることは、公には、していません。)
- ・ 全く感じない
- ・ 感じませんでした
- ・ 肝臓の先生、C型はそんなに感染しないと云われたので (配偶者) 安心してた こちらから自分の血液にさわらない方が良いと云うようにした。 歯科で必ず記入したが、反応がないのでむしろ不安、しっかり気を遣っておられるのか (移らないか他人に)

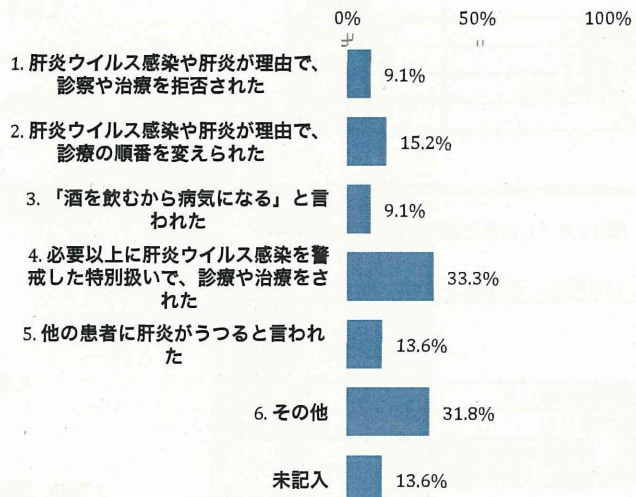
いつ偏見・差別を感じたか

以下 [問17で「1. 医療機関で感じた」(N=66)] の回答

問17-1-1. 医療機関でどのような偏見・差別的行為を経験したか (複数回答)

N=66

水準	度数	N=66に 占める 割合
1. 肝炎ウイルス感染や肝炎が理由で、診察や治療を拒否された	6	9.1%
2. 肝炎ウイルス感染や肝炎が理由で、診療の順番を変えられた	10	15.2%
3. 「酒を飲むから病気になる」と言われた	6	9.1%
4. 必要以上に肝炎ウイルス感染を警戒した特別扱いで、診療や治療をされた	22	33.3%
5. 他の患者に肝炎がうつると言われた	9	13.6%
6. その他	21	31.8%
未記入	9	13.6%



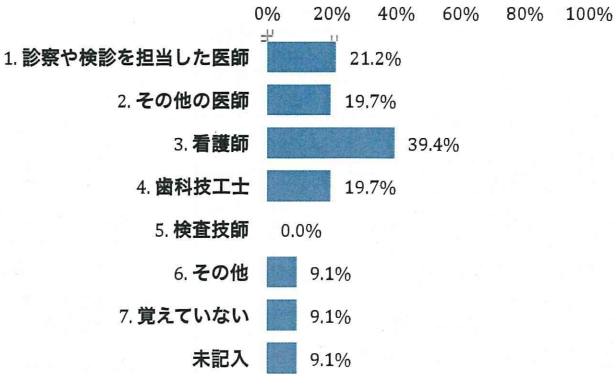
医療機関でどのような 偏見・差別的行為を経験したか

- ・ 歯科で順番を変えられた
- ・ 血液には気をつけた。
- ・ C型肝炎は癌とおいていた方がよい。
- ・ 入院中他のガン患者から横着病と非難された
- ・ 受付の看護師 整形の婦長に染るからと大きな声で言われました。
- ・ あまり感じた事はないがこの病院へ行っても診察の前に私はC型ですと答える事。
- ・ これは当然のことかもしれないが、(10年以上前のことだが) 医師が看護師か歯科衛生士かにそのことをMEMOするよう指示した。だまってMEMOすればよいことだ。
- ・ 直接はないが、歯科では必ず自ら申し出ている。整形外科手術の時、事前に自ら申し出た。
- ・ 歯学部で歯の治療を受ける時肝炎の人は席が決まっていた。
- ・ かかりつけの医者から大声で「あなたはC型肝炎だから」と言われて腹が立ってくやしかった。何故この様な言動をとるのか理解出来ず今だに苦しんでいる。待合室の患者にきこえるように
- ・ 開業医皮膚科「ホクロ」をとりたいと申しましたがC型で血小板が少ないので、かかりつけの病院で相談してください
- ・ C肝の訴訟問題が発表された時点で血液検査を拒否された。
- ・ なんとなく いつも迷惑をかけて申し訳ないと思っているから
- ・ 医師が我々もウイルス性肝炎の被害者だと言われた 以外の医院に行った。
- ・ 近隣の市の歯科医師会会長、署名のお願いに行ったら、「私たちは被害だから」と言われた。ウイルス肝炎患者は加害者？被害を拡大させない為にも医師と患者が協力し助成を確立し肝炎を撲滅すべきなのに…医療現場のトップがこの様な考えですからましてや一般の人は私達患者を汚れた者と考えるのは当然だと思います。悲しく悔しい限りです。
- ・ 最初に診察を受けた医院で汚い者を見る様な感じ。
- ・ 歯科医で医療器具のサビタ器具を使用された。
- ・ 入院の時、トイレは別、食器は別に集められた。
- ・ 娘が入院した時、娘だけ使い捨て食器だった。肝機能の数値が高くなりかかりつけの医院で注射に通ったのですが、先生に待合室で沢山の人の前で向処で貰ったのか出身地を大声で聞かれました。
- ・ 歯医者では、とても手荒く、扱われた。唇のつけ根を、長時間押さえ込むように、指で、引っ張られ、今でも、内側に黒い出血後があります。痛い目をしたのに、何の説明もなかった。二度と来てほしくない態度がアリアリで、帰りは30分待合室に座り込んで気を鎮めて帰りました。専門医の方でも感染の危険について説明されましたが、タオルも共有しないように話され、自分の立場がつかなくなりました。
- ・ 治療が終了後、使用した椅子、その他近くを必要以上に掃除をされ、アルコールをスプレーされました。
- ・ 歯科に行った時私が治療を受ける場所にラップをはって、日常つかわないイスにて治療をうけた。3回ほど行ったが、やめた。
- ・ (選択肢③補足) アルコールは、昔から、全く飲まないのに
- ・ (選択肢④補足) 必要以上ではないが出産時に あまり偏見と感じていない。出血をとまなうものなのではないかと思っ
- ・ た。
- ・ 差別へ偏見はなかった
- ・ 別に差別的扱いは受けていない
- ・ ありません。よくしてもらえました

問17-1-2.その扱いをしたのは、どんな立場の人が (複数回答)

N=66

水準	度数	N=66に 占める 割合
1. 診察や検診を担当した医師	14	21.2%
2. その他の医師	13	19.7%
3. 看護師	26	39.4%
4. 歯科技工士	13	19.7%
5. 検査技師	0	0.0%
6. その他	6	9.1%
7. 覚えていない	6	9.1%
未記入	6	9.1%



その扱いをしたのは、どんな立場の人が

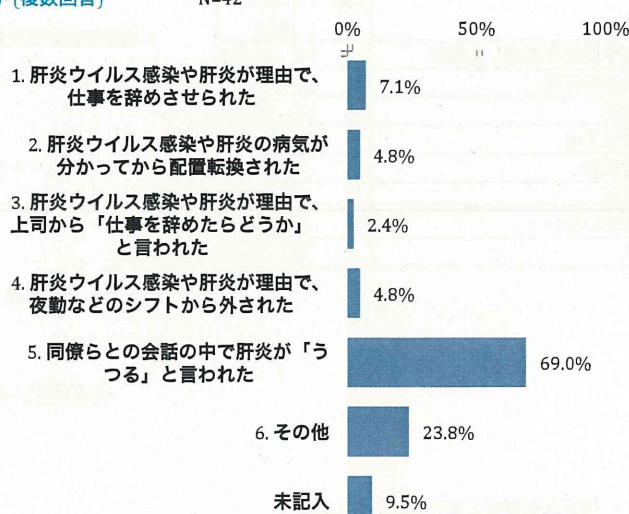
- ・ 同室入院患者の女性のいやらしさ
- ・ 歯の治療に際して、●●病院の歯科で強く思いました。
- ・ 歯科
- ・ 歯学部機構
- ・ 歯科でエプロンの違い私も申し訳ないと思っている
- ・ 近隣の市の歯科医師会会長
- ・ 受付の看護師 整形の婦長
- ・ 歯の治療中
- ・ 歯科医の奥さん
- ・ 外来の内科医
- ・ 鼻科
- ・ 歯科
- ・ 開業医皮膚科
- ・ 歯科医師
- ・ 歯科医
- ・ 歯科でいやな思いをしたのでそこには行ってない
- ・ 皆様よくして下さいました

以下「問17で「2. 職場で感じた」(N=42)」の回答

問17-2-1. 職場でどのような偏見・差別的行為を経験したか (複数回答)

N=42

水準	度数	N=42に 占める 割合
1. 肝炎ウイルス感染や肝炎が理由で、仕事を辞めさせられた	3	7.1%
2. 肝炎ウイルス感染や肝炎の病気が分かってから配置転換された	2	4.8%
3. 肝炎ウイルス感染や肝炎が理由で、上司から「仕事を辞めたらどうか」と言われた	1	2.4%
4. 肝炎ウイルス感染や肝炎が理由で、夜勤などのシフトから外された	2	4.8%
5. 同僚らとの会話の中で肝炎が「うつる」と言われた	29	69.0%
6. その他	10	23.8%
未記入	4	9.5%



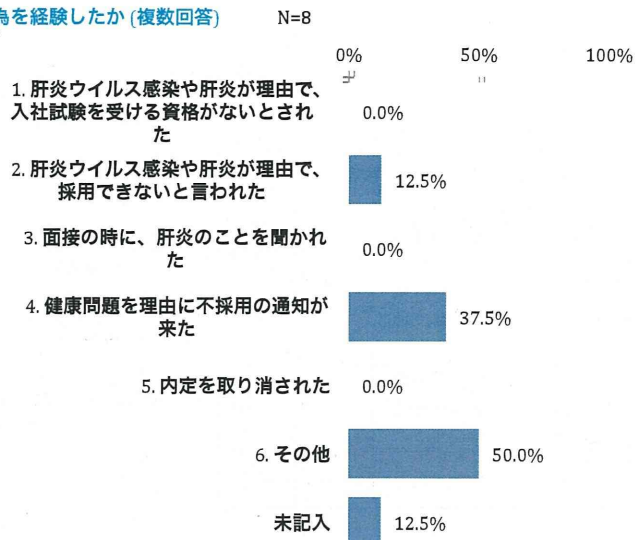
職場でどのような
偏見・差別的行為を経験したか

- [illegible]

以下 [問17 で「3. 就職、再就職の際に感じた」(N=8)] の回答

問17-3-1. 就職、再就職の際にどのような偏見・差別的行為を経験したか (複数回答)

水準	度数	N=8に 占める 割合
1. 肝炎ウイルス感染や肝炎が理由で、入社試験を受ける資格がないとされた	0	0.0%
2. 肝炎ウイルス感染や肝炎が理由で、採用できないと言われた	1	12.5%
3. 面接の時に、肝炎のことを聞かれた	0	0.0%
4. 健康問題を理由に不採用の通知が来た	3	37.5%
5. 内定を取り消された	0	0.0%
6. その他	4	50.0%
未記入	1	12.5%



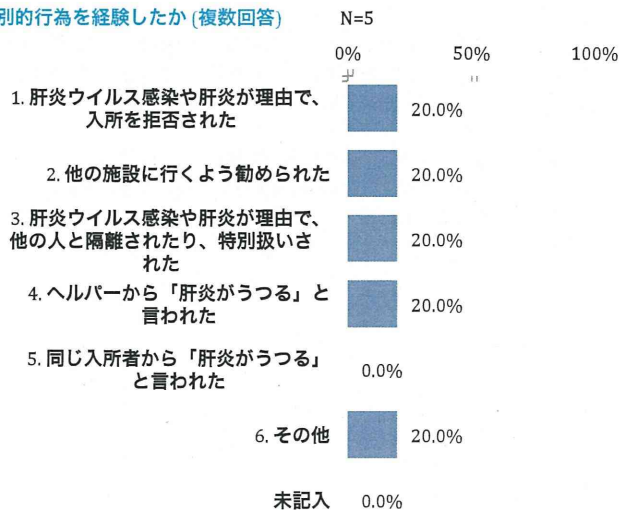
就職、再就職の際に、どのような偏見・差別的行為を経験したか

- ・ だまっていた。
- ・ 就職の際不利になる様な検査をしてはいけないとあるが肝炎ウイルスがプラスだからと言われた。
- ・ ウイルスの数が、どの位か、ときかれ、おしえてほしい。
- ・ 就職、再就職等はなかった
- ・ なし

以下 [問17 で「4. 高齢者施設に入所する際に感じた」(N=5)] の回答

問17-4-1. 高齢者施設に入所する際に、どのような偏見・差別的行為を経験したか (複数回答)

水準	度数	N=5に 占める 割合
1. 肝炎ウイルス感染や肝炎が理由で、入所を拒否された	1	20.0%
2. 他の施設に行くよう勧められた	1	20.0%
3. 肝炎ウイルス感染や肝炎が理由で、他の人と隔離されたり、特別扱いされた	1	20.0%
4. ヘルパーから「肝炎がうつる」と言われた	1	20.0%
5. 同じ入所者から「肝炎がうつる」と言われた	0	0.0%
6. その他	1	20.0%
未記入	0	0.0%

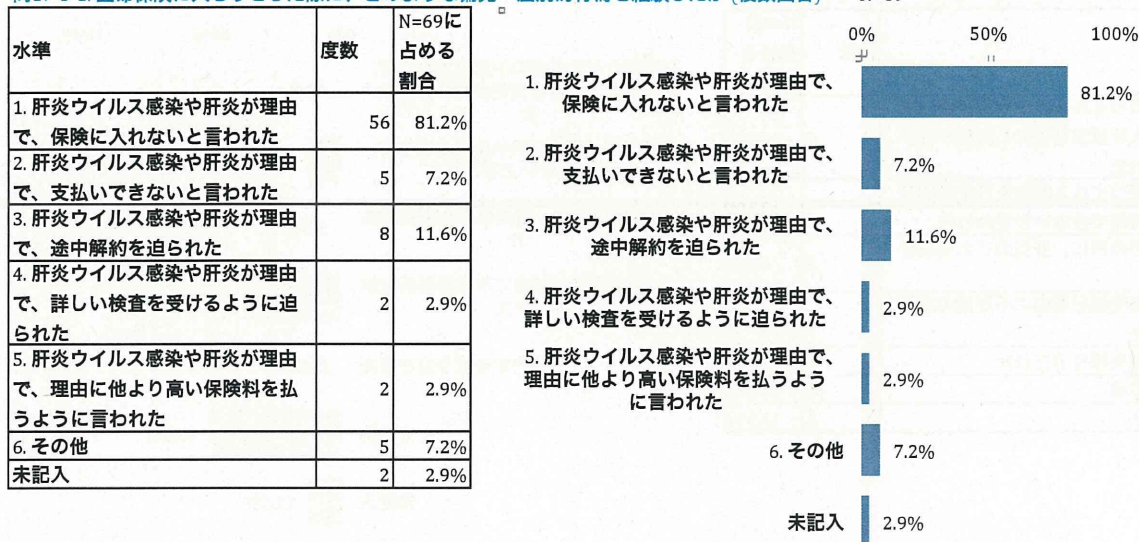


高齢者施設に入所する際に
どのような偏見・差別的行為を経験したか

- ・ 該当なし
- ・ なし
- ・ 入所願書に特別C型ウイルス型・量を書け(診断書をもらえ)と云われて中止した
- ・ 聞いたり、読んだりした事がある

以下 [問17 で「5. 生命保険に入ろうとした際に感じた」(N=69)] の回答

問17-5-1. 生命保険に入ろうとした際に、どのような偏見・差別的行為を経験したか (複数回答)



生命保険に入ろうとした際に どのような偏見・差別的行為を経験したか

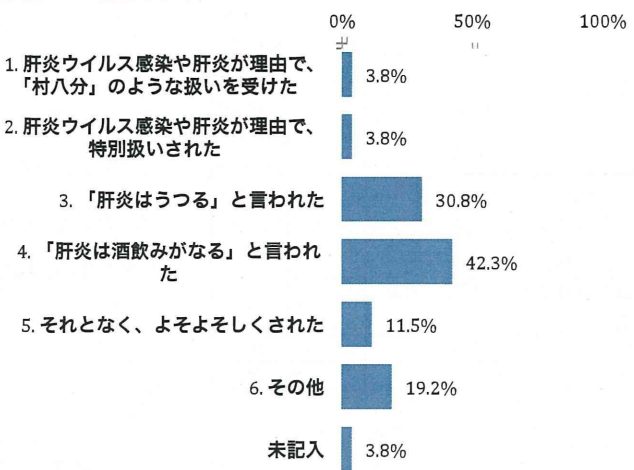
- ・ 生命保険でC型肝炎だと言ったらすでに癌である様にとりあつかわれた。
- ・ 直接言われたのではなく、1や5の理由で入れないだろうとあきらめている。
- ・ 肝炎ウイルス者であることを明記して県民保険に加入した。
- ・ 入れないと思っているので誰から言われたとかはない。
- ・ 生命保険以外の保険も、肝炎はだめと言われた。
- ・ 加入不可
- ・ 保険に入れなかったで、今後の健康維持、仕事遂行に黄信号が付いたと思い知らされた。必ず治してやと思った。
- ・ 無理強いをしてまで加入させておいてヒザ手術した時に (調査されたいが...) ダメと云われ解約させられ立腹した。
- ・ 郵便局、保険会社で完治している (ウイルス消滅) と言ってもダメだと言われた。
- ・ がん保険に入れなかったです。
- ・ 保険会社の社員を集めて、よく教育してほしい。肝臓癌にかかる300万円貰えるようになっていたが、私の分と妻も私名義の保険に入っていたが、計600万円貰えなかった。入るときには、癌ではなかったのに、おかしいと思った。
- ・ アフラック●●●年頃には入っていたが新しい種類には入れないと云われた。(変更出来ない) 他社も病気の保険はだめと云われた。

以下 [問17 で「6. 町内会や老人クラブなど地域の集まりで感じた」(N=26)] の回答

問17-6-1. 地域の集まりで、どのような偏見・差別的行為を経験したか (複数回答)

N=26

水準	度数	N=26に 占める 割合
1. 肝炎ウイルス感染や肝炎が理由で、「村八分」のような扱いを受けた	1	3.8%
2. 肝炎ウイルス感染や肝炎が理由で、特別扱いされた	1	3.8%
3. 「肝炎はうつる」と言われた	8	30.8%
4. 「肝炎は酒飲みがなる」と言われた	11	42.3%
5. それとなく、よそよそしくされた	3	11.5%
6. その他	5	19.2%
未記入	1	3.8%



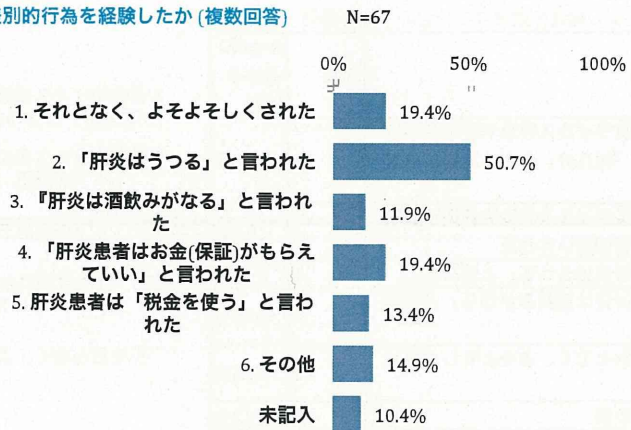
地域の集まりで
どのような偏見・差別的行為を経験したか

- ・ 出席しない。
- ・ 必要がないので外部の人には云っていません。
- ・ 私の顔に蚊がとまったので他の人が蚊をたたいた。そしたら蚊がたくさん血を吸っていたので、その人の手の平にたくさん血がついた。すぐ水道水で手をあらってもらい謝ったが、(うつる)とさわがれた。今治療をさせていただいている先生に相談した。先生は、まず、①水道水ですぐ洗い流したこと②その人の手が今傷ついていないこと③蚊から人には、うつらないこと。この3つをその人に伝えなさいと教えていただいた。それ以来言わなくなられた。
- ・ TV等でC型肝炎患者への補償を報じると、「C型肝炎」というと、誰でも受けられると思っている人がいる。
- ・ 町内会の人
- ・ なし

以下 [問17で「7. 知人や友人との会話の中で感じた」(N=67)] の回答

問17-7-1. 知人や友人との会話の中で、どのような偏見・差別的行為を経験したか (複数回答)

水準	度数	N=67に 占める 割合
1. それとなく、よそよそしくされた	13	19.4%
2. 「肝炎はうつる」と言われた	34	50.7%
3. 「肝炎は酒飲みがなる」と言われた	8	11.9%
4. 「肝炎患者はお金(保証)がもらえていい」と言われた	13	19.4%
5. 肝炎患者は「税金を使う」と言われた	9	13.4%
6. その他	10	14.9%
未記入	7	10.4%



知人や友人との会話の中で どのような偏見・差別的行為を経験したか

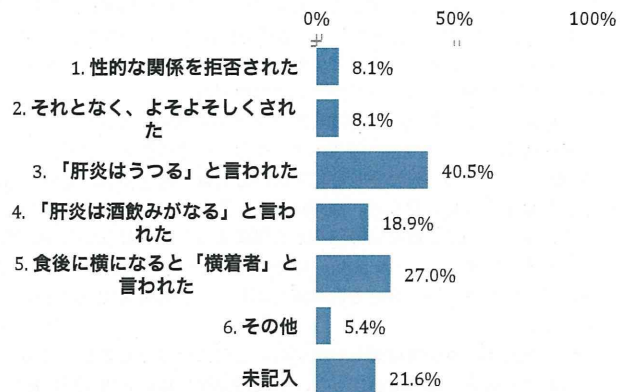
- ・ 知人宅で、コップを差別された。
- ・ 金のかかる治療にばかり頼らずに健康食品 (ブルーン) などで治せばいいのに…他の道をなぜ考えないの?と迫られた。そんな人が次々寄ってきて困った。健保・国保のバンクは貴女のような人がよく病院に行くからだと言われた
- ・ 公民館のお茶席に、歯科医師の妻の指示で入れてもらえなかった。お茶は一生しなかった。風呂のイスでうつると言われた。
- ・ 知人に男遊びしたわけでもないのにね…と言われエイズと勘違いをしてるのかなと思った。
- ・ 入院してた時、手を持ち話して帰る時、入口の水道で手を洗われた時、ショックだった。
- ・ 御近所が集まった時紙コップにコーヒーを入れたのですが誰がどれか判らなくなった時ある方が私はエイズや肝炎でないからどれでもいいよと云ったり皆さん私も々と云って大笑いしました。私はショックで声も出ませんでした。
- ・ 人にはウイルス感染していると言っていないのに私に言った訳ではない自分は他人には感染しないように気を付けた。言か気を付ける
- ・ 町内会の組長等、体調が悪いと断っても、順番制だからとやらされた (体がだるい事を横着者といわれた)
- ・ B型肝炎患者と同じ補償金もらって良いと言われた。C型は何ももらっていない
- ・ 肝友会の郵便物を見て近所の人々がよそよそしくなった。
- ・ 同級生
- ・ (選択肢④補足) ←差別とは思わないが
- ・ (選択肢①補足) されなくても 自分自身がさせて
- ・ 近隣の人
- ・ 別に何も感じたことはない
- ・ なにもありません。

以下 [問17 で「8. 家族の中で感じた」(N=37)] の回答

問17-8-1. 家族の中でどのような偏見・差別的行為を経験したか (複数回答)

N=37

水準	度数	N=37に 占める 割合
1. 性的な関係を拒否された	3	8.1%
2. それとなく、よそよしくされた	3	8.1%
3. 「肝炎はうつる」と言われた	15	40.5%
4. 「肝炎は酒飲みがなる」と言われた	7	18.9%
5. 食後に横になると「横着者」と言われた	10	27.0%
6. その他	2	5.4%
未記入	8	21.6%



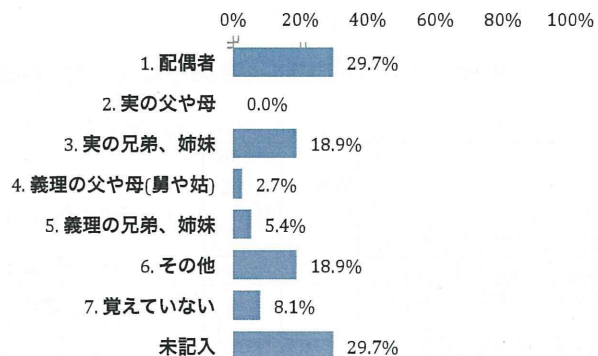
家族の中でどのような偏見・差別的行為を経験したか

- ・ 虫さされの薬を孫たちと一緒に使用しないように。
- ・ C型肝炎とわかった時主人に義理の父母、兄弟に話したかと聞くと、気持悪がるから言っていないと答えた。
- ・ 娘がやゝ神経質で、「肝炎が自分にうつる」と何度か言われた。「自分が発病したらどうしてくれるのか」
- ・ 実家でのことですが... (横着者とは) 言われませんでした。片身がせまく、冷ややかな感じをうけた 偏見と言うより、体調の悪さを理解してもらえず、自分でも横着なのかなと思われた。(気づかいをしてもらえなかった)

問17-8-2. その扱いをしたのは、どんな立場の人か (複数回答)

N=37

水準	度数	N=37に 占める 割合
1. 配偶者	11	29.7%
2. 実の父や母	0	0.0%
3. 実の兄弟、姉妹	7	18.9%
4. 義理の父や母(舅や姑)	1	2.7%
5. 義理の兄弟、姉妹	2	5.4%
6. その他	7	18.9%
7. 覚えていない	3	8.1%
未記入	11	29.7%



その扱いをしたのは、どんな立場の人か

- ・ 娘のむこ
- ・ 嫁
- ・ 娘 (子供が産まれて小さかった時)
- ・ 実の娘
- ・ 一般に肝炎がいられていない
- ・ 実の娘

問17-8-3. 家族や親類との生活で、偏見や差別を感じた具体的な内容 N=37

- ・娘のむこがきらって、料理をさしてもらえなかった
- ・家内は肝炎患者と頭で理解していても日常での変化は理解出来てない。朝屋夕方気分の変化体調の変化が(家内が健康であるから)気付かない。自分も少しの変化では話さない(体のつかれ度)
- ・夫が指と指がふれることすらいやがっていると感じました。それまでは、とても仲の良い夫婦でした。
- ・一つの皿の料理をいっしょにつついて食べれない。
- ・自分のほうから、積極的に行動をおこさないようにしている。
- ・肝炎の発病の後、子供から義母へとうつり、のち体調をくずした後長い間、肺、病で、苦しんでいた。その時、A型にさえならなかったら苦しい思いをせずにすんだのでは、と言われ、義姉からは、それがもともと早く他界したと言われた。
- ・包丁で指をきったときなど、血をみたら、家族に、ほら気をつけてほしいという、気持がつたわってくる。
- ・結婚前は、兄弟は、肝炎はうつるから側によったらいけないとか、同じ鍋のものは食べたらいけないとか、話をしていたので、だまって知らん顔していた。今でも、私がウィルス肝炎だと云う事は、父母、主人、子供以外は、だれも知らない。
- ・孫が蚊にさされた時、虫さされの薬を出したら、娘に大丈夫かと言われ、とてもショックだった。すぐに新しい別の薬を置いている。
- ・家族には肝臓の悪い者は誰もいないのにどこでうつったのか、なんで酒も飲まないのになったのか…と言われ、自分自身も引け目があり卑屈になってしまった。空気感染はしないし血液感染だから気をつけてればうつらないから…と説明したのだが、家族に言われると誰とも接したくない思いだった。
- ・お風呂に入る際には最後に入るようにしている。
- ・娘にしか話してないが、普通に接してもらっている。
- ・孫が生まれたのと、インターフェロンの治療が始まったのが同じ月でしたが、別に差別を受けたとは思っていなかった
- ・孫については、私自身が細心の注意をはらった。嫁や他の家族からは、それほど注意しなくてもと言われた。おかげで家族には誰一人うつっていない。
- ・私の家族は気にせず作った物は食べていました。自分自身で調理の時は気をつけて切りキズを作らない様に充分気を使いました。今のところ私1人でずんでいます。
- ・現在の治療を家族全員理解してくれて、又、高額治療(現金払い)でも不満云わず、C型肝炎は血液検査では現在も判明しますが、農作業にも影響なく、20年近く経過し、他の病気で病院に行く事がなくたまに、眼科、歯科に行く程度です。
- ・家族は良くしてくれた。
- ・なし
- ・別にありません

以下 [問17 で「9.在宅介護でヘルパーを利用した際に感じた」(N=10)] の回答

問17-9-1. 在宅介護でヘルパーを利用した際に、どのような偏見・差別的行為を経験したか (複数回答) N=10

水準	度数	N=10に占める割合
1. それとなく、よそよしくされ	2	20.0%
2. 「肝炎はうつる」と言われた	3	30.0%
3. 「肝炎は酒飲みがなる」と言われた	1	10.0%
4. 「肝炎患者はお金(保証)がもらえていい」と言われた	4	40.0%
5. 他の人に「あの人は肝炎」と言われた	1	10.0%
6. その他	1	10.0%
未記入	0	0.0%



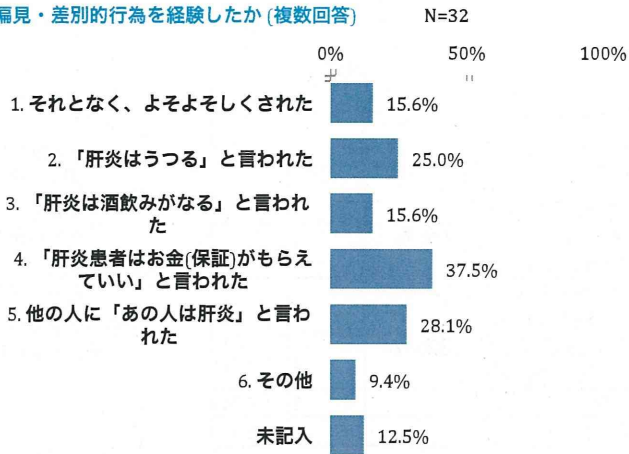
在宅介護でヘルパーを利用した際に
どのような偏見・差別的行為を経験したか

- ・ヘルパーさんもキャリアであったから理解して下さりとても安心であった。

以下 [問17 で「10. 他の病気を含めた患者同士の中で感じた」(N=32)] の回答

問17-10-1. 他の病気を含めた患者同士の中で、どのような偏見・差別的行為を経験したか (複数回答)

水準	度数	N=32に 占める 割合
1. それとなく、よそよそしくされた	5	15.6%
2. 「肝炎はうつる」と言われた	8	25.0%
3. 「肝炎は酒飲みがなる」と言われた	5	15.6%
4. 「肝炎患者はお金(保証)がもらえていい」と言われた	12	37.5%
5. 他の人に「あの人は肝炎」と言われた	9	28.1%
6. その他	3	9.4%
未記入	4	12.5%



他の病気を含めた患者同士の中で
どのような偏見・差別的行為を経験したか

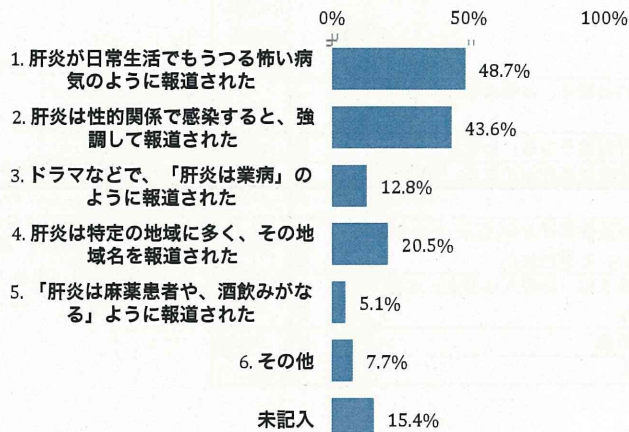
- ・ 皆んな補償金目的でしょうが!! 肝友会に問う 自己の病気ぐらいます自分の治療して不足分を補償までもってゆくこともあるでしょうが - 肝友会に問う (補償金を肝友会へ[読み取り不可]くだらん女性国会議員を何故出すのですか 即やめさせよ!!
- ・ 病院の待ち合い時間に助成の署名をお願いすると「あんたらは一律救済してもらって大金をもらったのにこの上まだ医療助成? 欲張りだ」とか「増税になる」と何人もの人に言われ悔しい思いをした。国やマスコミは一部の人のみの補償を一律一律と国民に刷り込んで、しかも増税を肝炎患者のせいにし患者と国民の間に溝を作っている。しかも肝炎のなかま同士の間にも国があらゆる線引きをして溝を作っている。・ 助成制度も一部の人のみ・ 薬害C型訴訟カルテ有る人のみ・ B型訴訟数々の条件で原告選別和解内容も線引き 他の多くの患者は何の援助もなく高額医療や病状の不安に苦しんでいる。
- ・ (選択肢②補足) 病院の患者が言っていたら看護婦さんがきっちと説明され納得された。
- ・ 外出しないので、体験出来ない
- ・ なし

以下 [問17 で「11. テレビ、新聞、週刊誌などマスコミの中で感じた」(N=39)] の回答

問17-11-1. テレビ、新聞、週刊誌などマスコミの中で、どのような偏見・差別的行為を経験したか (複数回答)

N=39

水準	度数	N=39に 占める 割合
1. 肝炎が日常生活でもうつる怖い病気のように報道された	19	48.7%
2. 肝炎は性的関係で感染すると、強調して報道された	17	43.6%
3. ドラマなどで、「肝炎は業病」のように報道された	5	12.8%
4. 肝炎は特定の地域に多く、その地域名を報道された	8	20.5%
5. 「肝炎は麻薬患者や、酒飲みがなる」ように報道された	2	5.1%
6. その他	3	7.7%
未記入	6	15.4%



テレビ、新聞、週刊誌などマスコミの中で どのような偏見・差別的行為を経験したか

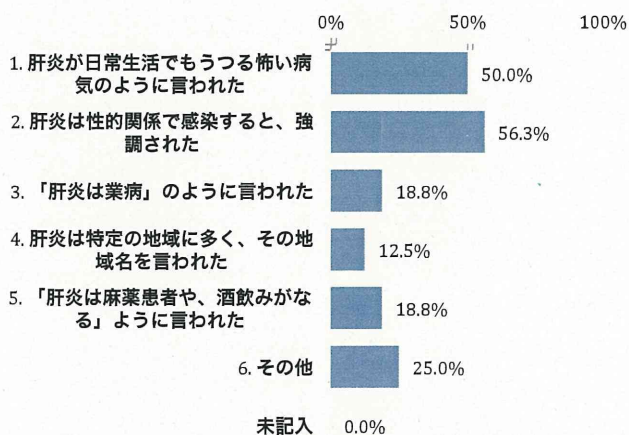
- ・ (選択肢①補足) カラオケのマイクなど
- ・ B肝の場合は思える様な報道があったと思う
- ・ 裁判や訴訟で和解となり一部の人のみの救済を全員救済のように報道、ドラマで注射針を汚染された若い医師が恐れおののく。過去にも三重大大学の二人の医師がB型急性肝炎で死亡した時、「エイズより怖いB型肝炎」というキャンペーンを張った事実あり。
- ・ 深夜のテレビで、医師？だったかイレズミをした者が肝炎になると言っていた
- ・ B型とC型の違いがわかっていない報道もあった。

以下 [問17 で「12. インターネットの中で感じた」(N=16)] の回答

問17-12-1. インターネットの中で、どのような偏見・差別的行為を経験したか (複数回答)

N=16

水準	度数	N=16に 占める 割合
1. 肝炎が日常生活でもうつる怖い病気のように言われた	8	50.0%
2. 肝炎は性的関係で感染すると、強調された	9	56.3%
3. 「肝炎は業病」のように言われた	3	18.8%
4. 肝炎は特定の地域に多く、その地域名を言われた	2	12.5%
5. 「肝炎は麻薬患者や、酒飲みがなる」ように言われた	3	18.8%
6. その他	4	25.0%
未記入	0	0.0%



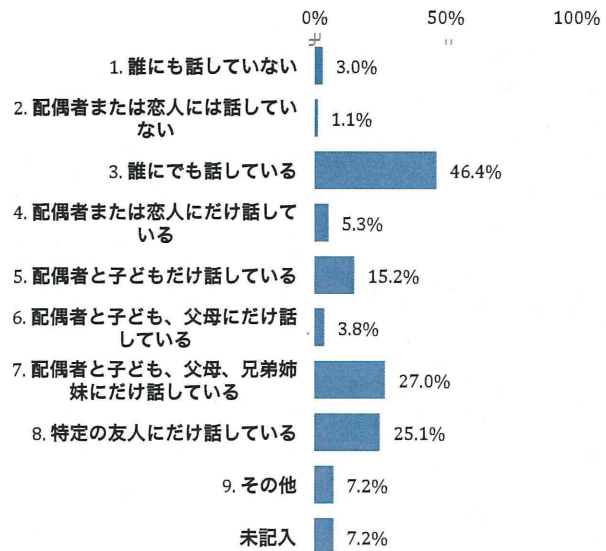
インターネットの中で どのような偏見・差別的行為を経験したか

- ・ 肝炎のせいで増税は納得できない。
- ・ 肝炎訴訟の事で税金からお金をもらえる様な言い方をされた
- ・ もし私が、肝炎でなかったら、反対の立場だったら肝炎の人とは仲良くは望まないでしょうと思います

問18. 肝炎(症状の無いキャリアを含む)であることを誰に話しているか(複数回答)

N=263

水準	度数	N=263 に占める割合
1. 誰にも話していない	8	3.0%
2. 配偶者または恋人には話していない	3	1.1%
3. 誰にでも話している	122	46.4%
4. 配偶者または恋人にだけ話している	14	5.3%
5. 配偶者と子どもだけ話している	40	15.2%
6. 配偶者と子ども、父母にだけ話している	10	3.8%
7. 配偶者と子ども、父母、兄弟姉妹にだけ話している	71	27.0%
8. 特定の友人にだけ話している	66	25.1%
9. その他	19	7.2%
未記入	19	7.2%



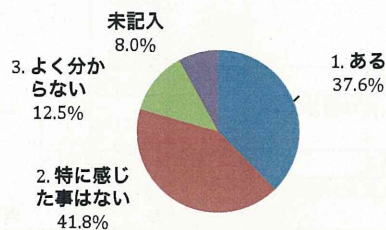
肝炎であることを誰に話しているか

- ・ 必要に応じて話している。
- ・ 職場の人には話してない。(嫌がられたりするし、こわいと言われるから、言えない)
- ・ 同居している、娘に話している
- ・ いろんなサークルがあるので話した。
- ・ 肝炎患者同士で話す。
- ・ 入院等で自然に家族や友人に知られた。
- ・ 配偶者、子供、上司、一部の同僚に話している。話さないと副作用もあり、休む日もあり治療ができない。
- ・ 家族、親せき、地元の住民
- ・ 子供と親族に話していた。
- ・ 特に隠してはいない。
- ・ 職場でも話している。特に仕事が介護職なので仕事に対しても注意をしていた。
- ・ 兄弟姉妹
- ・ 自然に廻りの人は知っている。
- ・ 娘に (選択肢③補足) 聞かれると
- ・ 近所 (隣など数人) 入院した病院の人兄弟など親類、知ってもらっていた方が、いいと思う人
- ・ 肝友会
- ・ 父母
- ・ 姉1人、姪1人。
- ・ 父母、姉妹に、話している。
- ・ (選択肢①補足) 再燃をくり返しているので医師 (転勤) などにも云っていない
- ・ (選択肢①補足) なるべく話さない様にヒミツにして居ます。
- ・ (選択肢③補足) HIVの教育もしましたから、自分から患者であることを教えて治療法についても説明した。
- ・ (選択肢③補足) 人のC型の人の指導もしている。
- ・ (選択肢③補足) 他の人に、うつらない様、気をつけてもらいたいから
- ・ (選択肢③補足) 話す事が自分が生活しやすくなったし、まわりの人の偏見もなくなっていくと思う。
- ・ (選択肢③補足) 別に変な病気とは思っていない誰にでも話した。
- ・ (選択肢③補足) 署名活動している
- ・ (選択肢③補足) 会社勤めを退社してから信頼できる人には (友達) 話せるようになった。
- ・ (選択肢③補足) 人をえらんで話す
- ・ (選択肢③補足) 自分から肝炎の正しい治療の方法を友人には話している

問19. 地域で肝炎について話にくい雰囲気を感じたことがあるか

N=263

水準	度数	割合
1. ある	99	37.6%
2. 特に感じた事はない	110	41.8%
3. よく分からない	33	12.5%
未記入	21	8.0%
合計	263	100.0%



地域で肝炎について話にくい雰囲気を感じたことがあるか

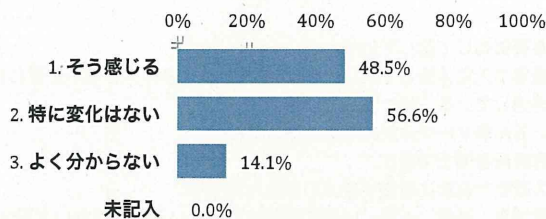
- ・ (選択肢①補足) 昔 最近はない。
- ・ (選択肢③補足) 地域に患者が多い為

以下 [問19で「1. ある」(N=99)] の回答

問19-1-1. 肝炎についての話にくい雰囲気は、近年変化して、話しやすくなってきたか (複数回答)

N=99

水準	度数	N=99に占める割合
1. そう感じる	48	48.5%
2. 特に変化はない	56	56.6%
3. よく分からない	14	14.1%
未記入	0	0.0%



肝炎についての話にくい雰囲気は、近年変化して、話しやすくなってきたか

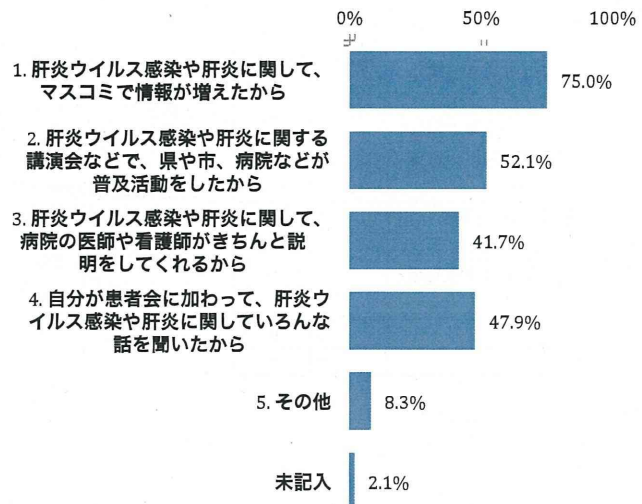
- ・ 神経質の方と見向けたら、遠慮します。
- ・ そう感じる時と よくわからない時がある
- ・ 肝炎について知識の無い所では、話さない
- ・ (選択肢②補足) 偏見があるからぬけ出せない。

以下 [問19-1-1 で「1. そう感じる」(N=48)] の回答

問19-1-1-1. どうして変化(話しやすくなった)が起きたと思うか (複数回答)

N=48

水準	度数	N=48に 占める 割合
1. 肝炎ウイルス感染や肝炎に関して、マスコミで情報が増えたから	36	75.0%
2. 肝炎ウイルス感染や肝炎に関する講演会などで、県や市、病院などが普及活動をしたから	25	52.1%
3. 肝炎ウイルス感染や肝炎に関して、病院の医師や看護師がきちんと説明してくれるから	20	41.7%
4. 自分が患者会に加わって、肝炎ウイルス感染や肝炎に関する話を聞いたから	23	47.9%
5. その他	4	8.3%
未記入	1	2.1%



どうして変化(話しやすくなった)が
起きたと思うか

- ・ そう簡単に感染はしない
- ・ c型肝炎が発覚して14年目に悪性の肝臓癌になり4ヶ月後に又3個の癌、又4ヶ月後に癌が出き、そこから近所の病院で強ミノを週3回注射を受けてるので知人に病名を聞かれると答えると、聞いた人は、スゴク興味を持って質問してこられます。
- ・ 自分自身の心の中も少し余裕ができたのかもしれない。
- ・ 身近にc型肝炎の知り合いが多い
- ・ あまり、強く意識したことはない。